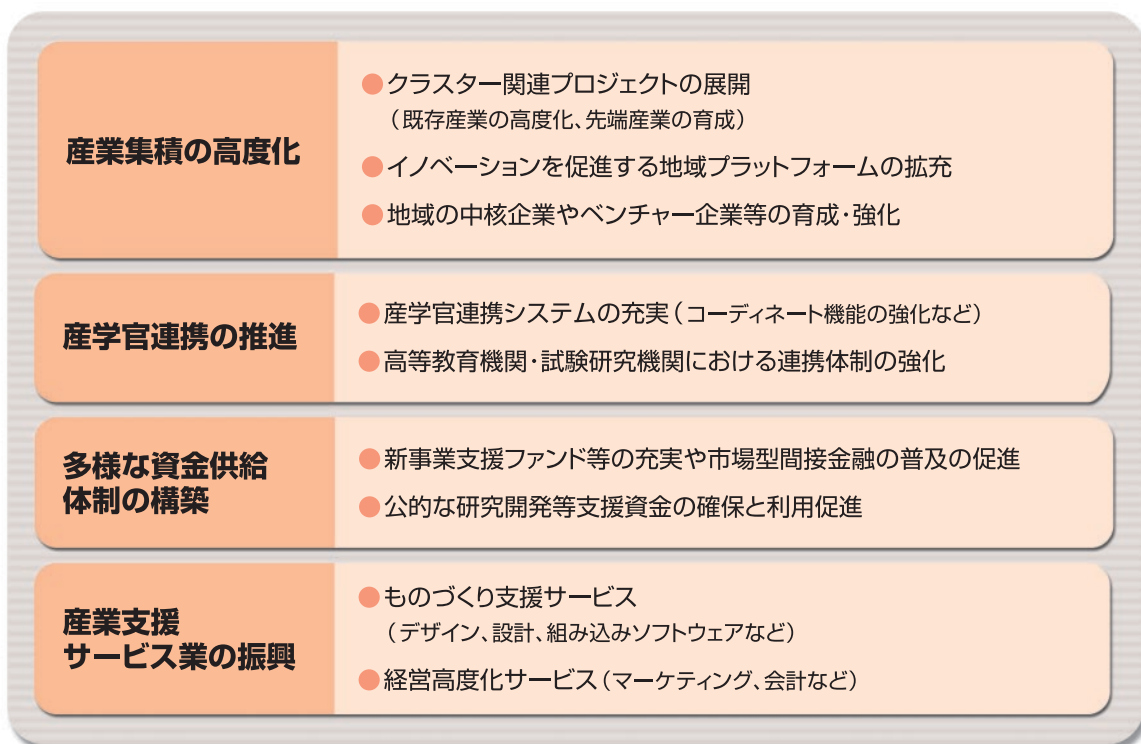


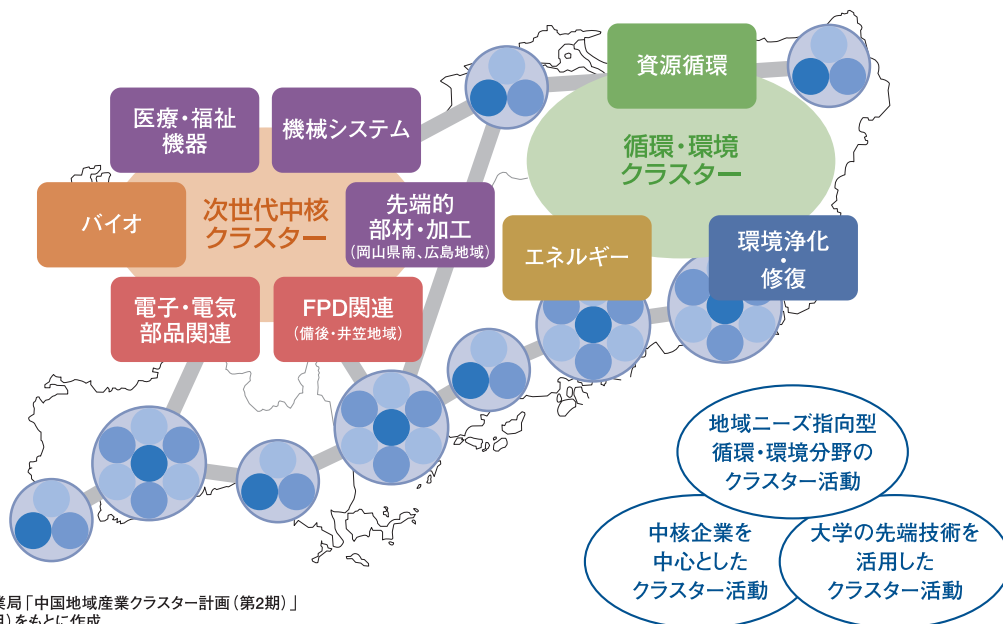
活力みなぎる経済圏の形成

1 ものづくりを中心としたイノベーションシステムの構築

- ◇国際競争激化等の環境変化に対応し、継続的にイノベーションを生み出すシステムを構築します。
- ◇工業集積の多様性を活かし、製造業を中心に産業支援サービス業等と相乗的な発展を図ります。
- ◇地域特性に応じた様々な集積形成を各地で展開し、これらの有機的な連携を図ります。



【中国地方における産業クラスターの形成イメージ】



(注) 中国経済産業局「中国地域産業クラスター計画(第2期)」(平成18年3月)をもとに作成

2 地域産業を支える人材の確保・育成

◇労働力人口の減少に対応するため、人的資源の有効活用とイノベーションを担う創造的・専門的人材の確保・育成を図ります。

人的資源 の有効活用

- 女性・高齢者等の有効活用を図るための環境整備
- 外国人労働者問題への対応

創造的・専門的人材 の確保・育成

- 技術・技能等の継承・支援体制の整備
- 産業人材育成教育の強化
(専門職大学院の設置、就職・キャリア教育など)
- 産学官連携による人材の育成(インターンシップの拡充など)

3 国際化・グローバル化への対応

◇産業活動のボーダレス化に対応し、企業の海外市場開拓を支援するとともに、国内外から選ばれる投資環境の整備が必要です。

企業のグローバル 市場展開への支援

- 国際経済交流の戦略的な推進
(ミッションの派遣、外国人留学生のネットワーク化など)
- 海外事業展開等の支援体制の整備
(海外事務所等の連携や共同セミナーの開催など)

投資環境の整備

- 立地優位性の確保
(戦略的な優遇措置、交通・通信基盤整備、生活環境整備など)
- 広報・誘致活動の強化

魅力あふれる生活文化圏の形成

1 個性と魅力ある地域の形成

◇地域文化の継承・活用と新たな文化の創造による地域づくりを各地で展開し、国内外のひとを魅了する中国地方を形成します。

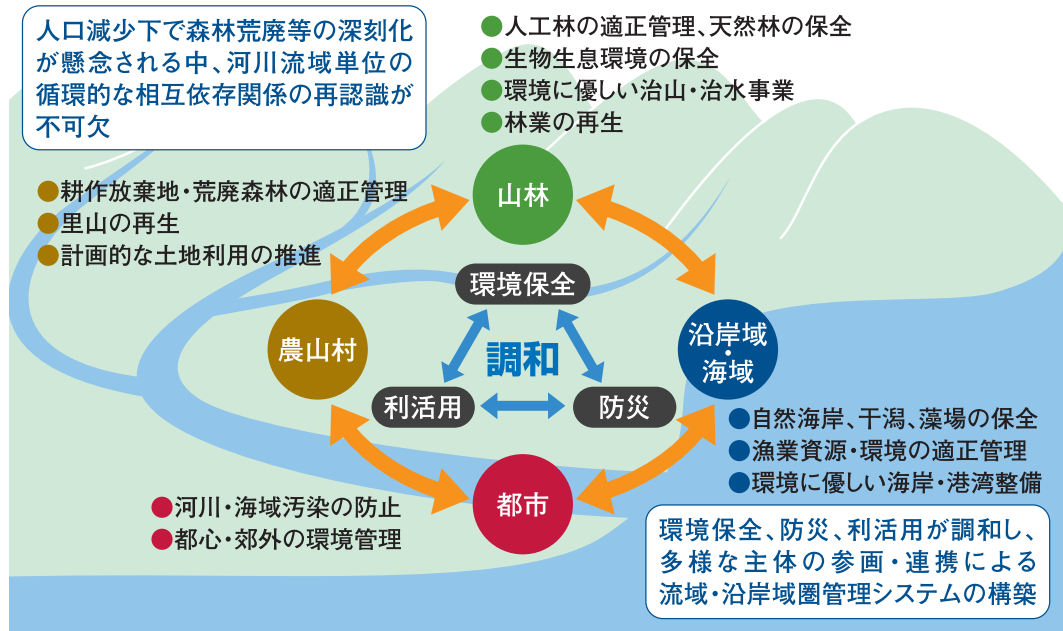
地域文化の継承	<ul style="list-style-type: none">● 郷土愛の醸成● 地域文化の保存
新たな文化の創造	<ul style="list-style-type: none">● 芸術・文化活動の支援 (演劇・音楽・映画祭の開催、芸術家の育成など)● 地域文化のネットワーク化による魅力・訴求力の向上
地域文化の活用	<ul style="list-style-type: none">● 伝統芸能・食文化の新たな展開(神楽等の活用)● 伝統産業の再生(匠の技の顕彰・継承など)

2 環境に優しい社会の構築

◇資源循環型の社会、瀬戸内海・日本海・中国山地が織りなす多様な自然環境と調和した持続可能な地域を形成します。

資源循環・環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none">● エコビジネス・環境産業の育成● 環境重視の企業活動の推進(自主行動計画に基づく行動の促進)● 社会基盤の形成 (環境教育・学習の普及促進、廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用と適正処分の推進、環境に優しい交通・運輸サービスの普及)
自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none">● 水循環を中心とした国土管理システムの再構築● 自然環境の保全・回復・創造活動の促進 (瀬戸内海をモデルとした先導的取り組み、森林・農地の保全への多面的な取り組み、自然環境に配慮した社会資本整備)● NPO・ボランティア等を含めた多様な主体の参画・連携

【流域・沿岸域単位の国土管理イメージ】



3 成熟社会にふさわしい生活環境の形成

◇多様な地域性を有する中で、それぞれの地域が、健やかで不安のない豊かな暮らしを実現できる社会を形成します。

少子・高齢化対策の推進

- 少子化対策の推進
(出産・子育て支援の充実、子供を産み育てやすい地域づくり)
- 高齢化対策の推進
(高齢者の社会参加の促進、医療・福祉体制の充実、ユニバーサルなまちづくりの推進など)

豊かな生活基盤の整備

- 基礎的な生活基盤の計画的・効果的な整備
(生活排水処理施設の整備など)
- 芸術・文化・スポーツのソフトインフラの充実
(地域スポーツクラブの育成、住民サークル活動の支援、指導者の確保・育成など)
- テレワークや二地域居住等の環境整備

暮らしの安全・安心の確保

- 災害対応・防犯体制の充実
(県境を越えた広域対応からコミュニティ対応まで)
- 他ブロックも支援する防災拠点やバックアップ拠点整備の検討
- 商品・サービスの安全・信頼の確保

地域の個性が輝く交流圏の形成

1 人口減少社会に対応した地域の形成～3相の地域での対応～

- ◇大小様々な都市が分散的に立地する地域構造を踏まえ、地域性の異なる中枢拠点都市圏、中核・中小都市圏、中山間地域という3相^[注1]の地域が、それぞれの特性に応じて役割・機能を重点化・高度化し、相互依存関係を構築することが必要です。
- ◇社会サービスを適切に維持・確保するため、広域的観点に立って、サービスの種類に応じて柔軟に、3相の地域で構成される圏域^[注2]の再構築を図ります。

[注1] 中国地方の各地域が有する役割や課題等は、中枢拠点都市圏、中核・中小都市圏、中山間地域によって異なり、各地域は階層的な上下関係ではなく、役割や個性や課題に応じて「様相」を異にする相互依存関係にあると考えられる。

[注2] 圏域の広がり方は、市町村内から県境を越えた広がりや有するものまで、社会サービス機能等の種類に応じて広狭は多様であり、固定的なものではない。(例:かかりつけ医療～高度救急医療、生鮮三品等の最寄り商圏～アウトレットモール等の超広域的商圏)

【中国地方の地域イメージ～中枢拠点都市圏、中核・中小都市圏、中山間地域の3相～】



3相による地域の再構築

- 中枢拠点都市圏、中核・中小都市圏、中山間地域それぞれの特性に応じた機能発揮
- 人口減少に対応した社会サービス機能の再編

都市再生等の推進

- 都市のコンパクト化
(社会サービス機能等の中心部への集積促進、低未利用地の有効活用、中心市街地活性化の推進、郊外地域の適正管理など)
- 安全・安心・快適な都市づくり
- 都市圏交通の円滑化

中山間地域の再構築

- 集落の維持・再編
- 中山間地域の魅力の維持・発揮
(森林・農地の公益的機能や文化的魅力の維持・発揮、都市との交流)
- 農林水産業の新展開
(企業の経営の導入、6次産業化、地産地消・輸出の推進、特産品の地域ブランド化)とRPの展開
- 地域交通の維持
(ダイヤモンド型・複合型サービスの提供、1.5車線道路の整備など)

2 観光の振興

◇地域の活性化を推進するため、瀬戸内海・日本海沿岸・中国山地の多様な自然や都市・中山間地域が有する個性・魅力を活かして、観光の振興を図ります。

観光資源の発掘・創出

- 新たな地域資源の発掘・活用
(例:大和ミュージアム、水木しげるロードなど)
- インバウンド観光の振興、新たな観光の展開
- 既存の観光資源のブラッシュアップ

広域観光の振興

- 広域ルート・エリアの形成・強化
(中海・宍道湖・大山圏域、世界文化遺産・美術館のネットワーク化など)

観光情報の発信と受入態勢の整備

- 広域観光情報の発信、戦略的な地域イメージの形成・PR
- 受入態勢の整備
(ガイド等の養成、案内所・サイン等の整備、ホスピタリティの醸成、着地型エージェンツの創設など)

3 国内外との連携・交流の推進

◇西日本を結節する地域特性やアジアとの交流の歴史を活かして、国内外との連携・交流を活発化することにより、他ブロックとの連携やグローバル化への対応を図ります。

地域連携の推進

- 国土軸・地域連携軸構想の推進、インターブロック都市圏・交流圏の充実、瀬戸内海の総合整備
- ブロック間での機能連携の強化
(高次機能の相互活用、共通課題への取り組みや国際交流等の共同化・連携)
- 国内外との連携・交流基盤の整備

国際共生の推進

- 国際文化交流や国際貢献活動等の多面的な交流の推進
- 国際人教育の推進
- 外国人受入環境の整備
(分かりやすい地図・案内標識の整備など)

目標像実現のための基盤形成

1 交通・情報通信基盤の整備と適切な維持管理

- ◇個性化と相互連携を通じて産業・地域活力を維持するため、交通・情報通信基盤の整備が必要です。
- ◇財政の逼迫及び維持更新投資の増大が見込まれる中で、ネットワークインフラとしての視点に立った投資の重点化と効果的・効率的な整備が不可欠です。
- ◇交通基盤については、①企業のグローバル化や広域観光の振興、②陰陽格差の縮小と中国地方の一体性の向上、③人口減少に対応した既存施設の広域的な有効活用、④リダンダンシー確保や環境負荷の低減などの要請を踏まえたネットワーク形成が重要です。
- ◇情報通信基盤整備により、①中山間地域等における効率的な社会サービスの提供や定住化の促進、②遠隔医療等による高齢化対策の充実、③交通需要の抑制による環境負荷の低減を目指します。

空港・港湾機能の強化

- 空港・港湾の機能分担・連携による施設整備と輸送ネットワークの確保
(コンテナ化・大型化や小口混載貨物・ダイレクト輸送の拡大などへの対応、国際空港・港湾機能の重点的整備など)
- 域内外の空港・港湾へのアクセス交通や円滑な接続の確保
- 環境に優しい効率的な物流の実現
(モーダルシフト・マルチモーダル化、国際・国内一体物流システムの構築、CIQ体制の充実・強化、情報共有基盤の導入など)

道路網の充実

- 高規格幹線道路及び地域高規格道路の整備と適切な維持管理
(中国横断自動車道尾道松江線、同姫路鳥取線、山陰自動車道、都市圏道路(鳥取環状道路、岡山環状道路、福山環状道路、広島都市圏自動車専用道路網)、都市間道路(美作岡山道路、岡山倉敷道路、倉敷福山道路、小郡萩道路、関門海峡道路)など)
- 幹線道路等と有機的ネットワークを形成する一般道路の整備
- 道路交通システムの高度化、地域の実情に応じた道路の整備

地域公共交通の充実

- 利便性が高く環境・人に優しいサービスの提供
(LRT・軌間可変電車等の導入、ダイヤモンド・複合型サービスの提供、電子乗車券の導入などシームレスネットワークの形成、低公害車・ユニバーサルデザインの導入など)

地域情報化の推進

- 地域特性に応じたブロードバンド基盤の形成
(光ファイバー・DSL・無線等の選択的な整備)
- 地域公共ネットワークの相互接続と民間利用への開放
- 防災・医療・教育等の多様な分野での情報通信技術の活用

2 知識社会の基盤強化

◇活力ある産業と豊かな生活を支える原動力として、創造的・専門的な人材を育成するとともに、知的財産等を創出する教育・研究基盤の強化を目指します。

教育システムの改革

- 高等教育機関の教育機能の個性化・高度化と連携・ネットワーク化
(運営・教育体制の再編、国立大学法人等の機能分担・連携、公立大学法人化など)
- 初等・中等教育の充実
(外国語・IT教育の強化、学科再編など教育課程の充実、職業教育・道徳教育・地域教育の充実、中高一貫教育・高大連携の推進など)
- 教育機関と企業等との連携強化
(教員研修の見直し、学外講師の活用など)

地域科学技術振興基盤の強化

- 高等教育機関や試験研究機関の個性化・連携による研究機能の強化
- 科学技術人材の確保・育成
(国際的に魅力ある研究環境の整備など)
- 研究成果等の社会還元への推進

3 行政システムの効率化と官民協働の推進

◇創意工夫と自己決定・自己責任による個性豊かな地域を形成するため、国と地方、官と民の役割を見直し、行政システムの抜本的な変革と官民協働による地域づくりを目指します。

行財政改革の推進

- 地方行財政の効率化・スリム化
(事務事業の見直し、市町村合併の推進など)
- 権限・税財源移譲による地方行財政システムの強化
- 道州制の導入

官民協働の推進

- 規制改革・民間開放の推進と民間活力の導入
(構造改革特区、PFI、指定管理者制度、市場化テストの活用など)
- 官民協働の仕組みの強化
(行政への住民参加・民意反映、住民自治の普及による地域自治体制の強化、「新たな公」を基軸とする地域経営システムの構築など)